

追憶

笹原由理

遠い記憶を
乗せて
花火が
閉じた目
奥で
散って
いく

泡雪

ゆっくりと
頬に
落ちる
雪を
ため息が
そっと
包み込む

夜の夢

無音の夜に
未成の月が
昇っていく